

山 弓 連

平成14年
第 4 号
11月1日
発行

「国体特集」

第57回高知国体山梨県成績結果
日程・9月21日～9月24日
場所・高知ちばさんセンター特設会場

成年男子遠的予選

	1回目		小計	2回目		小計	合計				
荒井	3	10	0	0	13	9	3	10	3	25	38
細野	0	9	3	9	21	5	0	9	7	21	42
中込	9	9	0	9	27	7	10	9	0	26	53
チーム計					61					72	133

成年男子遠的予選は1点差チームが7チーム
予選通過は134点であった。
山梨県チームは133点でベスト16に
1点足りなかった

成年男子近的予選

	1回目		小計	2回目		小計	合計				
荒井	×	○	○	○	3	○	○	○	○	4	7
細野	○	○	○	○	4	○	○	×	○	3	7
中込	×	○	○	○	3	○	○	×	×	2	5
チーム計					10					9	19

山梨チームベスト16進出

成年男子近的競技はベスト16に
関東勢7チームが進出
1回戦で関東勢が対戦した
勝1回戦 山梨 対 群馬

荒井	○	○	○	○	4	山梨11中対
細野	○	○	○	○	4	群馬10中
中込	○	○	×	○	3	山梨チーム準々決勝進出
					11	

準々決勝戦 対 宮城

荒井	○	×	×	○	2	山梨10中
細野	○	○	○	○	4	宮城10中
中込	○	○	○	○	4	競射2中対3中でベスト4
					10	ならず

5位～8位決定戦

6射3中で **7位決定**

成年女子近的予選

	1回目		小計	2回目		小計	合計				
大久保	○	○	×	×	2	○	×	○	○	3	5
深沢	○	○	×	×	2	○	○	○	×	3	5
保坂	○	○	○	×	3	○	×	×	○	2	5
チーム計					7					8	15

成年女子近的は1本差でベスト8ならず

成年女子遠的予選

	1回目		小計	2回目		小計	合計				
大久保	3	7	3	5	18	3	0	0	5	8	26
深沢	7	10	10	5	32	5	9	9	3	26	58
保坂	9	10	3	3	25	0	0	7	9	16	41
チーム計					75					50	125

成年女子遠的予選3位でベスト8進出

予選1回目山梨チームは12射皆中で1回目トップで
2回目に臨んだ

成年女子遠的準々決勝

大久保	0	3	0	7	10	山梨チームは 愛媛に51対61で ベスト4ならず
深沢	10	5	7	7	29	
保坂	0	3	0	9	12	
チーム計					51	

5位～8位決定戦

大久保	5	3			8	23点で
深沢	3	5			8	
保坂	0	7			7	
チーム計					23	

7位決定

☆成年女子は近的で1本差で負け
気持ちを切り替え、遠的に臨んだ
3人がガンバッタ結果7位入賞した。

なかでも深沢選手は予選から決勝まで1本の
的からははずさず ガンバッタ!

☆成年男子も1本差で昨年に続きベスト16に
進出できなかった

その気持ちの切り替えが出来たから近的では
入賞出来たのではないかと

なかでも細野選手のガンバリが目を引いた。

(河西指導部長)

高知国体をおえて 監督・小林弘子

ミニ国体を薄氷を踏む思いで突破した成年女子は念願の本国体の地、高知に乗り込みました。連日の猛暑で体力勝負かなとおもいました。まず近的競技、選手は根っからの明るさで一本一本確めるように練習していましたが、やはり大舞台に緊張していたので、本座で控える選手の矢が少し震えているのに気付きました、だからか本来の力が出し切れずに惜しくも一本差で予選突破ならず、次にひきずらない様に「遠的では、とにかくリラックス、自信をもって行け！」と尻を叩いて送り出しました。一回目はなんと高得点七五点、十二射皆中！練習でも記憶にないような成績に気を良くしたのか、選手の間にも余裕さえ感じられました。なにしろ第一控えてバレーのように踊っている選手もいたくらいです。私の今までの感覚からは想像も出来ない光景でした。そして七位入賞、ひそかに目標にしていた賞状を持って帰ることが出来ました。さらに応援しあった成年男子も七位、二倍の喜びをかみしめました。何より遠路はるばる我が楯形弓道部員の応援で、選手も私も心強く射場と応援席が一体となり勝ち得た勝利と改めて感謝の気持ちがいっぱいでした。

国体弓道に出場して 監督・深沢 勇

始めに、国体壮行射会に多数出席していただき、有難うございました。

今回の国体は、女子も5年ぶりの出場となり、男女とも入賞を目標に大会に挑みました。男子は遠的決勝トーナメントに1点足りず、落選してしまい、近的では、決勝トーナメント出場と頑張り19中で予選通過、ベスト8、準々決勝と進むに連れて、他県の選手、監督も口数が減り緊張していくのが分かる。大会が進むに従って、各県の応援が大きくなり、平常心で行射するのが非常に難しい。対戦相手の応援にも負けず、山梨県チームは、1年間の練習の結果が出きれたことで、心技体の大切さを尚一層感じました。

男女とも、目標が達成でき、高知国体は、選手のお陰で良い思い出となりました。

おらが道場

～町が弓道に寄せる思い～

この度、甲府盆地を一望できる丘陵地にあります双葉町スポーツ公園の一角に念願の弓道場が完成し、9月22日に道場開きが催されました。

これに先立ち、九月10日には関係者多数の出席のもと町長・教育長による四方固めの儀に続き、町弓道部の称号者による矢渡しが厳粛のうちに執り行われました。

道場開き当日は、双葉町飯室教育長、県弓道連盟安藤会長、天野理事長、有賀総務部長の各氏をはじめ北巨摩郡全市町村、隣接支部・町村の弓道部員、称号者多数のご出席を頂き、心温まるご祝辞と激励のお言葉を賜り盛会のうちに道場開きと祝射会が滞りなく終了致しました。

真南に向いた道場は、塚のすぐ東側には霊峰富士山が鎮座し、西には南アルプス、北には八ヶ岳連峰がそびえ、ロケーションはまさに絶景の感があります。射場は、6人立ちで、奥行きは4間半であります。塚は、シャッター付きにして冬場に対応しました。

町は、当町弓道部に小笠原流作法の継承者並びに全日本学生の覇者などが在籍しておりその普及に期待できることから、次の趣旨のもとに弓道場を建設するに至ったのであります。

- 1、学校五日制を視野に、年少者に対する徳育的教育効果が期待できること。
- 1、高齢化に伴う生涯教育、生き甲斐対策となること。
- 1、いま、弓道は海外でも注目されており、日本文化を根底にした国際交流をも視野に入れた特徴ある町づくりを担うこと。

今後は、これらの主旨を踏まえ肅々とその普及に邁進するよう部員一同心を新たにしております。

どうか皆様方にも大いにご利用頂きながらご指導賜れば幸甚に存じます。

(報告・双葉町 弓道部 櫻井)

裏面もご覧ください

しょうげつ
 嘯月美術館 所蔵 矢・羽根について

小林弓具店様

過日、山梨の良き地、若草町十日市場に在する財団法人の美術館より、矢、羽根、があるので見てもらいたい由、依頼を受け拝見したところ現在ではとても手にはいらぬ高価な物がたくさん有って驚かされました。

昭和49年に山梨で初めて美術館として開館、貴族院議員、衆議院議員、東京電燈副社長、関東瓦斯社長、富士身延鉄道社長、等々を歴任した河西豊太郎を父に持ち、共に二代一世紀にわたり集めた頼山陽、勝海舟、加納梁塵、橋本雅邦、与謝蕪村、池大雅、林茂松、等々千点を超える作品を持つ、故

西俊夫氏、そのなかの所蔵品のこの矢羽根を没後三代目宏和氏が、「めずらしく又貴重なものならば、全国の弓引きの集まる至誠館の中央道場展示室に置いて皆さんに見て頂ければ」と、いうことで当弓具店の仲立ちで神宮の権福宜、毛利氏、また武田広先生にお骨折り頂き、10月4日の全日本選手権の直前から12月1日までの間、選りすぐったものの展示が叶う事となりました。弓引きならば皆欲しがる班

(ふ)のきれいな熊鷹、本来ピンクのはずが、時を経て白くなってはいるが朱鷺、目玉の並んだような模様の青鷺(せいらん)、開翼時に2m50cmにもなる大鷺、我々は大鳥と呼ぶ、粕尾、薄兵と呼ばれる尾白鷺、そんな矢が21組、さらに家紋の入った桐の箱を開けると中には又ガラス張りの薄い桐箱が十二枚重なっておりその中には石打を含むいろいろな斑の大鳥の羽根が十二枚一組で絹で覆った色紙に金糸で結びとめられて威厳を放っています。五十万、百万円とも言われ、矢にしてもやはり百万とも百五十万とも言われるものも含まれ、展示室へ飾り終えてそこに居合わせた皆が満足感を覚え、感嘆の溜息が漏れ出しました。願わくば、神宮に集う弓士の目にとまり、又、展示を終えてこの美術館に里帰りして山梨の弓道愛好家の目に愛でられんことを祈ります。どんな高価な羽根でもその鷺鷹を捕獲できない今、現存する羽根も年を経て枯れ、虫も喰い終わりを迎えましょう、その前により多くの士に愛でられんことを祈ります。

お問い合わせは、小林弓具店まで
 電話、ファックス・055・282・5130

社会体育の基本的考え方は、その必要性を意識させると共に社会的な背景の中にあるものと思われる、先ず学校教育と家庭教育を通じて関連した生涯教育が、いわばそのもの自体が社会教育である。私達の身体活動を中心として先ず健康管理を目的としたり、自分の体力を向上させ楽しいスポーツ活動が出来るようにしようと思うのである。これらを決めたのは昭和二十四年の成立から今年まで長く続いてきた、その年月の中で在る所では行政活動が先行したりする所があったり、またそれを兼務する業務の中で事後処理的な活動に変わりつつある所などあり、これからはその様なことを無くし一貫した活動が出来るようになっていきたいものである。

社会活動の対象とする内容とその方法については個人的に幼児から高齢者まで対象とし、集団的には家族そして職場又は地域大衆などが考えられる、その中でスポーツの社会的特性についての活動内容は、制度化されたスポーツのなかで健康を中心とした楽しみだけのものや、挑戦的な活動にいたるものまでさまざまである。しかしその様な中でもお互いに守らなければならないものは、どんなスポーツでも必ずルールは守らなければ何にもならない、そのための組織づくりが必要である。文化としてのスポーツとその指導は人が生活していくためには合理的で便利でなければならない、特に家庭に密着して発達したママさんバレーは親子そろって楽しく出来るスポーツとして発達してきた、弓道も親子で弓道教室に通い始めたり、夫婦で一生懸命になって楽しく始めた人達が増えてきている、実に楽しい光景である。

この様に楽しみながら始まったスポーツ集団は組織とその中で生まれる諸問題を苦しみのある価値観と、それを取り巻く活動に問題の意義がある。

それはその競技に対して集中する精神主義なものと、結果に対して満足する勝利主義的なものと、又まとまりのあるグループを目的とした集団主義の三つが上げられるが、これらの中で大切なことは指導者対象の多様化をどう対応し、競技スポーツの強化をはかりながら豊かなスポーツ空間の創造中で、競技力の向上と、個々の人間性を通じてチーム力の向上に努めて欲しいものである。次回は「スポーツ心理学」です。「訂正」前号の記事内容に誤りがありました、「通信教育も前半と後半とで89ページは、897ページ」の誤りです、訂正させていただきます

第17回女子弓道大会 小瀬武道館

平成14年10月20日

参加人数・高校生84名・一般34名

秋山照美部長の「矢渡し」の後「五人持的」で高校生に「櫛がけ」を見ていただきました。

高校の部・団体（1人6射*3人=18射）

1位・巨摩A(11中)・

小林愛理香、有泉由紀、丹沢珠美

2位・甲府西A(11中)

中原希未、若狭真理、川手友美子

3位・巨摩B(9中)・

依田かおり、石川知子、今津由利子、

*1位2位は競射による

高校の部・個人(各6射)

1位・川手友美子(甲府西) 5中

2位・関部亜衣(白根) 5中

3位・青柳 咲(韮崎) 4中

*1位、2位は競射による

一般の部(各6射)

1位・志村ひさ実(塩山) 4中

2位・望月孝美(中巨摩) 4中

3位・河西未緒(中巨摩) 4中

*1位~3位は競射による

(女子部事務局・望月孝美)

いきいき山梨ねんりんピック弓道大会

平成14年9月15日(日)・小瀬武道館

近的・12射

1位・小宮山庄輔(10中) 一宮町

2位・小沢重平(9中) 増穂町

3位・市川 明(8中) 境川村

☆ 第五十三回甲府市民体育祭

標記の大会が9月29日(日)12地区より約50名の参加があり緑ヶ丘弓道場に於いておこなわれました。年に一度の体育祭という事もあり、地区より選ばれた選手たちは上位入賞を目指して集中した。

内藤支部長の矢渡し(第一介添竹村、第二介添新藤)の後、競技に入りました。

試合結果は次の通り

団体36射

① 国母(窪田、吉田、竹村) 21中

② 大里(岡本、小瀬、綿奈部) 17中

③ 朝日(細野、百田、小林) 16中

個人12射

① 組沢(里垣) 11中

② 細野(朝日) 10中

③ 窪田(国母) 8中 (甲府支部・内藤)

余白

弓道用語和英辞典抜粋

或る、インターネット・ホームページで見つけました英語では、意味合いが?と思うものもあます、いかがですか?

息合い(いきあい) (Kiai) Harmony of Breath

会(かい) (Kai) Full Draw

跪坐(きざ) (Kiza) Half Sitting on the Heels

ぎりこ(ぎりこ) (Giriko) Resin

頬づけ(ほおづけ) (Hoozuke) Touching the Cheek

口割り(くちわり) (Kuchiwar) Line of the Mouth

残心(身) (ざんしん) (Zanshin) Remaining Spirit(Form)

丹田(たんでん) (Tanden) Abdomen

詰合い(つめあい) (Tsumeai) Uniting the Firming Points of the Body

伸合い(のびあい) (Nobiai) Uniting the Expansions of the Body

早気(はやけ) (Hayake) Premature Release

平常心(へいじょうしん) (Heijoshin) Condition of calmness

目づかい(めづかい) (Mezukai) the Use of the Gaze

もたれ(もたれ) (Motare) Delayed Release

揖(ゆう) (Yu) The Half Bow

蝶(ゆがけ) (Yugake) Grove

(新)

編集担当者より

第4号は、国体関連等の特集のため、各先生方より豊富な記事をいただきましたので、両面の編集となりました、厚くお礼申し上げます、今後ともご協力お願い致します

秋風や 白木の弓に 弦はらん(向井去来)

原稿・メールでお送りください

sindo-02@mx2.nns.ne.jp

新藤康平・甲府市湯村1-7-2

Tel・Fax・055-252-1938